

健康保険 傷病手当金 支給申請書(第 1 回)

被保険者記入用

傷

記入方法および添付書類等については、「健康保険 傷病手当金 支給申請書 記入の手引き」をご確認ください。

申請書は、楷書で枠内に丁寧に記入ください。

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 アイウ

被保険者証の (左づめ)	記号	番号	生年月日	年	月	日
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
氏名・印 (フリガナ)			<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成			
住所 (〒 -)			都 道 府 県			
電話番号 (日中の連絡先) TEL ()			自署の場合は押印を省略できます。			

金融機関 名称	銀行 金庫 信組 農協 漁協 その他 ()	本店 支店 代理店 出張所 本店営業部 本所 支所
預金種別	口座番号	左づめでご記入ください。
<input type="checkbox"/> 1. 普通 <input type="checkbox"/> 2. 当座 <input type="checkbox"/> 3. 別段 <input type="checkbox"/> 4. 通知	<input type="text"/>	
口座名義	※カタカナ(姓と名の間は1マス空けてご記入ください。濁点(・)、半濁点(゜)は1字としてご記入ください。	口座名義 の区分
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 1. 被保険者 <input type="checkbox"/> 2. 代理人

「2」の場合は必ず記入・押印ください。(押印省略不可)

被保険者	本申請に基づく給付金に関する受領を下記の代理人に委任します。		平成	年	月	日
	氏名・印	住所	「被保険者情報」の住所と同じ			
代理人 (口座名義人)	住所	TEL				
	氏名・印	住所	被保険者との 関係			
		(フリガナ)				

「被保険者記入用」は2ページに続きます。>>>

被保険者のマイナンバー記載欄
(被保険者証の記号番号を記入した場合は記入不要です)

社会保険労務士の
提出代行者名記載欄

印

原式番号

協会使用欄

受付日付印

健康保険 傷病手当金 支給申請書

2

被保険者記入用

被保険者氏名

① 傷病名 1つの記入欄に複数の傷病名を記入しないでください。	1)	平成	年	月	日
	2)	平成	年	月	日
	3)	平成	年	月	日

② 初診日

平成	年	月	日
----	---	---	---

③ 該当の傷病は病気(疾病)ですか、ケガ(負傷)ですか。

1. 病気 (発病時の状況)

2. ケガ → 負傷原因届を併せてご提出ください

④ 療養のため休んだ期間(申請期間)

(平成) 年 月 日 から 日数

年 月 日 まで 日数

印刷

⑤ あなたの仕事の内容(具体的に)
(退職後の申請の場合は退職前の仕事の内容)

① 上記の療養のため休んだ期間(申請期間)に報酬を受けましたか。または今後受けられますか。

1. はい

2. いいえ

①-① 「はい」と答えた場合、その報酬の額と、その報酬支払の対象となった(なる)期間をご記入ください。

平成	年	月	日	から	報酬額
平成	年	月	日	まで	円

② 「障害厚生年金」または「障害手当金」を受給していますか。受給している場合、どちらを受給していますか。

1. はい

2. 請求中

3. いいえ

1. 障害厚生年金

2. 障害手当金

「はい」の場合

②-① 「はい」または「請求中」と答えた場合、受給の要因となった(なる)傷病名及び基礎年金番号等をご記入ください。
(「請求中」と答えた場合は、傷病名・基礎年金番号をご記入ください。)

傷病名	基礎年金番号	年金コード
支給開始年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	年 月 日
年金額	円	

③ (健康保険の資格を喪失した方はご記入ください) 老齢または退職を事由とする公的年金を受給していますか。

1. はい

2. 請求中

3. いいえ

「はい」の場合

③-① 「はい」または「請求中」と答えた場合、基礎年金番号等をご記入ください。
(「請求中」と答えた場合は、基礎年金番号のみをご記入ください。)

基礎年金番号	年金コード
支給開始年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成
年 月 日	年金額
	円

④ 今回の申請は労災保険から休業補償給付を受けている期間のものですか。

1. はい

2. 労災請求中

3. いいえ

「はい」の場合

④-① 「はい」または「労災請求中」と答えた場合、支給元(請求先)の労働基準監督署をご記入ください。

労働基準監督署

「健康保険傷病手当金支給申請書記入の手引き」の添付書類をご用意ください。「および」支給期間と支給額ををご確認ください。

様式番号

6 0 1 2 1 4

「事業主記入用」は3ページに続きます。 >>>

健康保険 傷病手当金 支給申請書

3

事業主記入用

労務に服することができなかつた期間を含む賃金計算期間の勤務状況および賃金支払状況等をご記入ください。

被保険者氏名																																				
勤務状況 【出勤は○】で、【有給は△】で、【公休は公】で、【欠勤は/】でそれぞれ表示してください。																																				
平成	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	出勤	有給
平成	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日
平成	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	日	日
上記の期間に対して、賃金を支給しました(します)か? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ																																				
給与の種類 <input type="checkbox"/> 月給 <input type="checkbox"/> 時間給 <input type="checkbox"/> 日給 <input type="checkbox"/> 歩合給 <input type="checkbox"/> 日給月給 <input type="checkbox"/> その他																																				
賃金計算 締日 日																																				
支払日 <input type="checkbox"/> 当月 <input type="checkbox"/> 翌月 日																																				
上記の期間を含む賃金計算期間の賃金支給状況をご記入ください。																																				
支給した(する)賃金内訳	区分	単価	月 日 ~ 月 日分	月 日 ~ 月 日分	月 日 ~ 月 日分	賃金計算方法(欠勤控除計算方法等)についてご記入ください。																														
			支給額	支給額	支給額																															
	基本給																																			
	通勤手当																																			
	住居手当																																			
	扶養手当																																			
	手当																																			
	手当																																			
現物給与																																				
計																																				
上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日 担当者氏名																																				
事業所所在地																																				
事業所名称																																				
事業主氏名																																				
電話 ()																																				

記入例

1	2	3	4	5
28	4	000	000	000
28	5	000	000	000
4	16	5	15	15
300,000	1,350,000			
120,000				
20,000	20,000			
440,000	155,000			
東京都千代田区 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇				
〇〇株式会社				
健康 〇〇部				

- 【被保険者の方へ】
- お勤め先の事業所に証明を受けてください。資格喪失日以降の期間に関する申請については、空欄でご提出ください。
- 【事業主の方へ】
- 労務に服することができなかつた期間を含む賃金計算期間(賃金計算の締日の翌日から締日の期間)の勤務状況について、出勤した場合は○で、有給の場合は△で、公休日の場合は公で、欠勤の場合は/で表示してください。
 - 給与の種類について、該当する給与の種類を選んでください。
 - 賃金計算の締日および賃金の支払日をご記入ください。
 - 労務に服することができなかつた期間を含む賃金計算期間における賃金支給状況についてご記入ください。また、賃金支給状況がわかるよう、賃金計算方法や欠勤控除計算方法等をご記入ください。
- ※3か月を超えて証明する場合は、当ページをコピーして超えている部分をご記入ください。

版式番号
6 0 1 3 1 3

「療養担当者記入用」は4ページに続きます。>>>

健康保険 傷病手当金 支給申請書

療養担当者記入用

患者氏名			
傷病名	(1)	療養の給付	(1)平成 年 月 日
	(2)	開始年月日	(2)平成 年 月 日
	(3)	(初診日)	(3)平成 年 月 日
発病または負傷の年月日	平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 発病 <input type="checkbox"/> 負傷	発病または負傷の原因
労務不能と認められた期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	日間	
うち入院期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	日間 入院	療養費用の別 <input type="checkbox"/> 健保 <input type="checkbox"/> 公費() <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他
診療実日数 (入院期間を含む)	診療日及び入院していた日	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	転帰 <input type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医
	を○で囲んでください。	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
	日	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
上記の期間中における「主たる症状および経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)			手術年月日 平成 年 月 日
			退院年月日 平成 年 月 日
症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見			
人工透析を実施または人工臓器を装着したとき			
人工透析の実施または人工臓器を装着した日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日	人工臓器等の種類	<input type="checkbox"/> 人工肝門 <input type="checkbox"/> 人工関節 <input type="checkbox"/> 人工骨頭 <input type="checkbox"/> 心臓ペースメーカー <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> その他()
上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日			
医療機関の所在地		印	
医療機関の名称		電話 ()	
医師の氏名			

記入例

1	患者氏名 協会 太郎	2	傷病名 左手部強打
3	発病または負傷の日付 平成 28年 4月 22日	4	労務不能と認められた期間 平成 28年 5月 12日から平成 28年 5月 12日まで
5	診療実日数 (入院期間を含む) 4月 22日 5月 12日		

上記の期間中における「主たる症状および経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく) 予病年月日 平成 7月 日 退院年月日 平成 9月 日

左手部を骨折し、4/22初診。前背バンドで固定。固定するまで安静とし、固定後リハビリが必要。固定後痛みが軽減するまで安静が必要で、固定後もリハビリが必要であったため、労務不能と判断した。

人工透析を実施または人工臓器を装着したとき

医師の氏名 東京都品川区 1-1-1 協会病院 内科 太郎 印 44 03

- 【被保険者の方へ】
- 療養担当者(医師等)の意見を受けてください。
- 【療養担当者の方へ】
- 複数の傷病名がある場合、(1)から主たる病名を順次ご記入ください。
 - 左の傷病名について、その傷病の初診の日をご記入ください。
 - 治療期間でなく、療養のため就労できなかったと認められる期間とその日数をご記入ください。また、証明日以前の期間をご記入ください。
 - 症状および経過、労務不能と認められた医学的な所見を詳しくご記入ください。

※3か月を超えて証明する場合は、当ページをコピーして超えている部分をご記入ください。

原簿番号
6 0 1 4 1 2